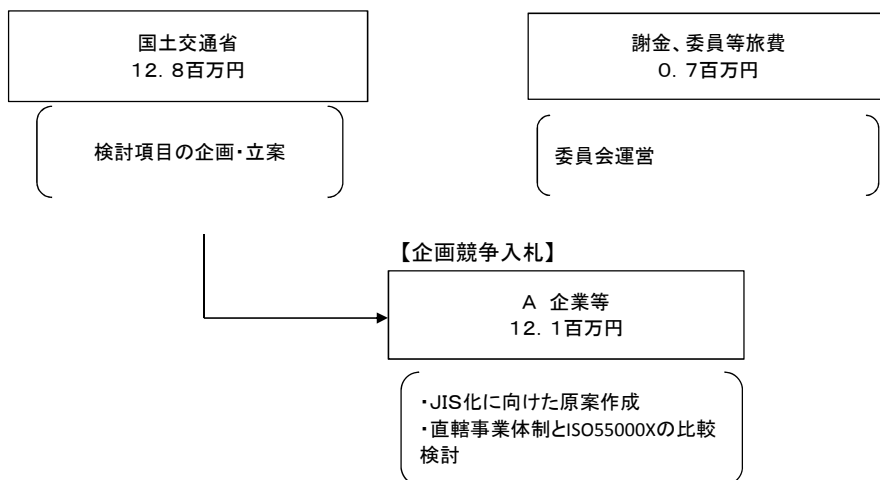


平成26年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	アセットマネジメントに係る調査検討経費		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度・平成27年度		担当課室	技術調査課		課長 田村 秀夫		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 32 建設市場の整備を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針 (平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ISO5500Xが発行される(平成26年3月頃までに)ことに伴い、ISO5500Xの認証取得に係る検討を行い、日本企業の国際競争力を向上させるとともに、国内でのアセットマネジメントの一般化と市場形成を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アセットマネジメントがISO国際規格として発行した場合、国際標準の統一した考え方として日本国内でも一般化することが必要であり、建設関係国内企業の海外プロジェクト(インフラの整備・維持管理事業)への参入条件を整える必要とあわせて、国内における認証システムを早期に構築することが必要不可欠である。 そのため、専門的な知見を取り入れたISO5500Xの適切な翻訳を行い、JIS原案作成に必要な原案作成委員会の運営を行い、ISO5500Xを国家規格(JIS)化するための検討を進める。また、国土交通省の直轄事業体制とアセットマネジメントISOの比較について検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					12.8	
		繰越し等						
		計					12.8	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	国家規格の制定(JIS化)	成果実績	件	—	—	—	国家規格の制定(JIS化)	
		達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。 (理由)本事業は、調査検討業務のため、事業箇所数や件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。	活動実績	—	—	—	—	—	
		(当初見込み)	—	(—)	(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	単位当たりコストを示すことができない (理由)本事業は、調査検討業務のため、事業箇所数や件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。		算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	—	0.5					
	委員等旅費	—	0.2					
	建設市場整備推進調査費	—	12.1					
計	—	12.8						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国際規格であるISO5500Xの考え方を日本国内でも一般化させ、国内企業の国際競争力を向上させることを目的としている。政策的に重要な分野であり、かつ、公共調達に係る規格であることから、国が主体的に取り組むことが必要。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業は、国際規格であるISO5500Xの考え方を日本国内でも一般化させ、国内企業の国際競争力を向上させることを目的としている。政策的に重要な分野であり、かつ、公共調達に係る規格であることから、国が主体的に取り組むことが必要であり、当該予算により検討を行うことは適当である。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
社会資本の効率的な維持管理、インフラシステムの海外展開の推進の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					